ねんきんだより Pensions News

年金生活者支援給付金制度について

年金生活者支援給付金は、公的年金などの収入やその他の所得額が一定基準額以下の年金受給者の生活を支援するために、年金に上乗せして支給されるものです。

受け取りには請求書の提出が必要です。

対象者　老齢基礎年金を受給しているかた

要件
- ６５歳以上であること。
- 世帯員全員が市町村民税が非課税となっていること。
- 前年の年金収入額とその他所得額の合計が８７８,９００円以下であること。

対象者　障害基礎年金・遺族基礎年金受給者

要件　前年の所得額が「4,７２１,０００円＋扶養数×３８万円」以下であること。

■請求手続き

○日本年金機構から年金生活者支援給付金を受け取る資格のあるかたに９月初旬頃から通知が送られています。同封のはがきに記入し提出してください。

○年金を受給しはじめるかたは、年金の請求手続きと併せて年金事務所または市区町村で請求手続きをしてください。

☎０５７０－０５－４０９２（ナビダイヤル）

問合せ　太田年金事務所 ☎４９－３７１６

通販はクーリング・オフできません！

【事例１】

通販サイトでジャージを購入したが、色を間違えた。サイトには「クーリング・オフはない。返品は送料自己負担」と書かれており、自己都合の返品になるが、本当にクーリング・オフができないのか疑問を持っている。（高校生）

【事例２】

大学用のパソコンをネットで注文したが、納品が授業に間に合わないことが判明。クーリング・オフを試みたが、事業者から「ネット注文のため、規約の通り対応できない」と言われた。（大学生）

【ひとこと助言】

通信販売には、法律上のクーリング・オフ制度はありません。返品の可否や条件についての特約があればそれに従うことになります。

特約がない場合は、商品を受け取った日を含む８日以内であれば、消費者が送料を負担して返品できます。返品可能な場合でも、期限が設けられていることがあります。商品を受け取ったらすぐに中身を確認しましょう。

通信販売を利用する際は、返品ができるかや返品が可能な場合の条件などをよく確認しましょう。

未成年者取消ができる場合があります。困ったときは、消費生活センターにご相談ください。

相談は消費生活センターまで　☎８２－７８３０（ナヤミナシ）

休日当番医

期日	内科系		外科系	耳鼻科
10月６日(日)	竹越医院 ８４－３１３７	小児科おぎわらクリニック※ ６１－１１３３	富士クリニックペインクリニック ２０－１９７１	川村耳鼻咽喉科医院 ７２－１３３７
10月13日(日)	まりレディスクリニック ７６－７７７５	阿部医院 ６２－５４２８	慶友整形外科病院 ４９－９０００	－
10月14日(月)	いたくら内科クリニック ７０－４０８０	横田医院 ７２－０２５５	岡田整形外科クリニック ７２－３１６３	－
10月20日(日)	加藤医院 ８９－１０３１	明和赤ちゃんこどもクリニック※ ８４－１１６６	明和セントラル病院 ８４－１２３４	板倉耳鼻咽喉科クリニック ８０－４３３３
10月27日(日)	新井内科クリニック ２０－１２２０	多々良診療所 ７２－３０６０	川島脳神経外科医院 ７５－５５１１	－
11月３日(日)	おうら病院 ８８－５６７８	藤原医院 ８８－７７９７	新橋病院 ７５－３０１１	－
11月４日(月)	さくま内科胃腸科クリニック ５５－２５００	うえの医院 ７２－３３３０	小曽根整形外科 ７２－７７０７	－

歯科	
館林邑楽歯科保健医療センター ７３－８８１８ 午前９時～正午	◆緊急　公立館林厚生病院（内科系・外科系）　☎７２－３１４０ ◆コロナに関すること　館林保健福祉事務所 ☎７２－３２３０（平日午前８時30分～午後５時15分） 群馬県新型コロナウイルス感染症受診相談センター　☎０５７０－０７０－５６７（館林保健福祉事務所の受付時間外） ◆夜間　館林市夜間急病診療所（内科・小児科）午後７時～10時（日・祝、年末年始除く） ☎７３－２３１３（要受診前電話連絡）

●診療時間は、午前９時～午後５時（ただし、耳鼻科の診療時間は、午前９時～午後１時）　●内科系の※は、小児科のみとなります。
●受診前に必ず医療機関に電話で確認してください。　●救急テレホンサービス　☎７３－５６９９：受診可能な病院を紹介しています。

Face フェイス

妥協は許さず、徹底的に多くの人に感動と喜びを与えたい

篠原　育雄さん

しのはら　いくお
板倉町在勤

休日は家事をしたり、音楽を聴いたりして過ごしているそうです。

音楽との出会い

ステージに立ち、歌う篠原さんが音楽に出会ったのは小学３年生の時だったそうです。家の片すみに置いてあった古びたギターを手に取り、誰かに教わったわけでもなく始めました。ギターの持ち方も音の出し方もわからず、悪戦苦闘しながら練習したと言います。音が出せるようになったときはとても感動し、それからは学校から帰宅したら、すぐにギターを弾く毎日となりました。

初めてのステージ

中学２年生の時、文化祭で初めてステージに立ち、長渕剛さんの巡恋歌を演奏したそうです。周りからの評判もよく、さらにのめり込んでいきました。それからは地元のライブハウスやカフェなどで演奏を行い、腕をみがきました。それから音楽は切ってもきり離せない生活の一部になっていきました。

周囲の協力

町内の会社に勤めながらライブ活動を行う篠原さん。周囲への感謝を忘れません。こよなく愛する長渕剛さんのライブへ参加するための休暇や自身のライブの準備など、会社が協力してくれているそうです。また、ライブを行う際のチラシとチケットは娘さんが手作りするなど、家族も一緒になって盛り上げています。

ライブへの決意と心構え

ライブはプロのバンドメンバーを依頼し、徹底的にミーティングを行います。妥協は許さず、自分自身を追い込んでいく時、一番気持ちが高まるそうです。３時間のライブを行うためにトレーニングは欠かさず、体力強化や筋トレ、ボイストレーニングを行っています。また、過去のライブの研究も怠りません。今後もライブを通じて感動と喜びを与えたいと語る篠原さんの活躍に期待しています。

レポーター
広報編集委員
横塚（よこつか）　修（おさむ）